

【不祥事根絶に向けた本校の決意】（行動基準）

教師は、子ども達が一番身近に接する社会人

- 1 高い倫理観・豊かな人間性
- 2 教育的愛情・使命感
- 3 専門性の発揮・的確な職務遂行
- 4 変化に柔軟に対応
- 5 (学年の決意)

不祥事根絶のための行動計画

福山市立 湯田小学校
作成責任者 校長 寄高 俊樹

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
教職員の規範意識の確立	○職員数が多く、経験年数も様々である。高い危機管理意識をもつこと。	○広島県だけでなく、全国各地の懲戒処分情報にアンテナを張り、随時、職員へ服務規律の徹底を図る研修や指導を行っていく。	○長期休業中には、管理運営研修を実施するとともに、職朝や終礼等において、管理職が随時、職員へアナウンスしていく。 ○職員室等に不祥事根絶に向けた標語を掲示し、日常的に意識を高める。	○保護者アンケート ○不祥事防止委員会での相互評価
学校組織としての不祥事防止体制の確立	○組織的な「報連相」の確立。 ○職員の業務の軽減を図るためのスクラップ&ビルド。	○主任から管理職への「報連相」を密にする。 ○業務改善を通して、職員の業務の軽減を図る。	○月に1回不祥事防止委員会を開催し、学年主任や部主任から職員の情報を吸い上げる。 ○過重業務や勤務時間超過が起きていないか配慮し、課題があれば、主任を中心に解決にあたらせる。	○月1回の学年主任会で、情報交換を行い、状況を把握する。 ○毎月末入校・退校時刻集計表で勤務時間超過状況を把握する。
相談体制の充実	○「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」の設置、及び窓口をより浸透させる取組。	○「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」の周知を繰り返し行い、児童や保護者が誰にどのように相談すればよいのか手だてを示す。	○児童に口頭で伝えたり、学校通信で保護者等に周知させたりするとともに、校舎内全ての教室にポスターを掲示し、担当の教職員を明示する。	○学期末に児童、本校教職員を対象にアンケートを実施する。